

総合工学委員会 原子力安全に関する分科会 (第25期・第1回)
議事録

1. 日 時 令和2年12月7日(月) 17:00～19:00
2. 会 場 遠隔会議(主催会場: 芝浦工業大学大倉教授室)
3. 出席(敬称略)
大倉委員、越塚委員、竹田委員、松岡委員、森口委員、矢川委員(世話人)、
野口委員、山地委員、上坂オブザーバー
欠席者 柴田委員、関村委員
4. 議事
 - 1) 分科会の成立
10人の委員中8人の委員が参加しており、分科会が成立していることを確認した。
 - 2) 経緯説明
矢川委員(世話人)より、これまでの経緯が説明された。
 - 3) 分科会の運営について
矢川委員より、本分科会における委員のメールの共有、及び、議事録について各自の意見を反映した後、最終案を委員長に一任することが提案され、了承された。
 - 4) 分科会委員長選任
矢川世話人より、委員長として関村委員の推薦があり、承認された。
関村委員からの確認は、矢川世話人がとることとし、副委員長及び幹事は、関村委員長の指名により決定されることが承認された。
 - 5) 第25期活動方針等審議
 - ①第25期の分科会の活動方針が矢川世話人より説明があり、了承された。
 - ②研究用原子炉の在り方検討小委員会
山地オブザーバーより小委員会の活動方針、メンバー案について説明があり、了承された。
また、小委員会全体として、女性の参加者も増やすように配慮するとの方針が共有された。
 - ③原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会
小委員会設置について森口委員から説明あり、以下の方針も含めて了承された。
活動内容について、前期のフォローアップ活動として、報告の英語版を作成も検討する。委員候補については、女性メンバーは増加しており望ましい状況であるとのコメントがあった。

森口委員が設置提案の及び委員候補者の最終案を作成して、委員に共有したうえで確認することとした。

④原子力連絡小委員会

前期の小委員会の機能は分科会として議論し、原子力総合シンポジウムについては分科会で担当者を決めて運営すれば良いのではないかという意見が出され、継続審議とした。

⑤福島第一原発事故調査に関する小委員会

小委員会の活動内容やメンバー案について、松岡委員より説明があり、以下の議論が行われ、小委員会の設置については了承された。

- ・学術として事実を押さえるのは重要である。
- ・複雑なシステムにおける新知見の活用と検討に期待する。
- ・小委員会の名称は活動内容に合わせて、松岡委員を中心に検討する。

5. 配布資料

資料1 原子力安全に関する分科会（第25期） 設置提案書

資料2 〃 委員名簿

資料3 原子力安全に関する分科会（第24期・第12回） 議事要旨

資料4 原子力安全に関する分科会の活動

資料5 原子力連絡小委員会（第24期） 設置提案書

資料6 〃 委員名簿

資料7 研究用原子炉の在り方検討小委員会（第25期） 設置提案書

資料8 〃 委員名簿

資料9 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会 報告

資料10 研究用原子炉の在り方検討小委員会 記録

資料11 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会 設置提案書

資料12 〃 委員名簿

資料13 福島第一原発事故調査に関する小委員会 設置提案書

資料14 〃 委員名簿

参考資料1 原子力安全に関する分科会（第25期・第1回） 開催通知

参考資料2 分野別委員会分科会（第25期・第1回）での審議事項について

- ・●委員会等の議事要旨の公開等に関するガイドライン
- ・メール審議の実施について（第178回幹事会決定）
- ・日本学術会議会則第27条第2項に基づく委員会決定（総合工学委員会）

記録者 野口 和彦